

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第50週（令和6年12月9日～令和6年12月15日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第50週は、インフルエンザの1医療機関当たりの報告数が35.40となり、大きな流行が発生または継続しつつあるとされる警報レベルの基準値（1医療機関当たりの報告数30）を超えましたので、本日警報を発表しました。本疾患は、毎年冬季に流行を繰り返し、県民の健康に大きな影響を与えている感染症の一つです。感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや適切なマスクの着用、咳エチケット、こまめな換気、三密の回避等に努め、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。また、38℃以上の急な発熱や全身の倦怠感等の症状が現れた場合には、早めにかかりつけ医等の医療機関に電話で相談しましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	850	241	15,018
腸管出血性大腸菌感染症	4	167	39	3,618
つつが虫病	1	1	35	247
レジオネラ症	2	72	30	2,295
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	142	48	2,148
急性脳炎	1	27	11	523
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	2	3	61
侵襲性肺炎球菌感染症	3	105	48	2,267
梅毒	18	847	193	13,789
百日咳	7	184	135	3,509

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	343	1.73	1.08	15,163	3.07
インフルエンザ（警報レベル）	7,009	35.40	1.74	44,673	9.03
RSウイルス感染症	15	0.13	1.07	961	0.31
咽頭結膜熱	69	0.58	1.25	1,244	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	539	4.49	0.91	8,188	2.61
感染性胃腸炎	638	5.32	0.88	13,677	4.35
水痘	38	0.32	0.53	961	0.31
手足口病	180	1.50	0.51	6,121	1.95
伝染性紅斑	27	0.23	1.35	2,900	0.92
突発性発しん	44	0.37	1.07	806	0.26
ヘルパンギーナ	2	0.02	0.33	151	0.05
流行性耳下腺炎	8	0.07	4.00	116	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	17	0.02
流行性角結膜炎	13	0.50	1.63	496	0.71
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	10	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	19	0.04
マイコプラズマ肺炎	44	2.93	0.92	1,097	2.29
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	4	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。